

令和5年度 ともに未来を創る「くるめっ子」を育成する 柴刈小学校プラン

《学校の教育目標》 自己実現をめざす子どもの育成

《本年度 学校の重点目標》 伝え合い、伸び合う子どもの育成

基礎的・基本的知識・技能を  
確実に身につけ活用すること  
ができる。【つくる力】

自他の考えや思いを理解し、よりよ  
い解決策を目指して協力して活動  
することができる。【つなぐ力】

自他の違いを認め合い、よりよ  
い自分を目指し進んで行動する  
ことができる。【つらぬく力】

学びをつなぐ授業

- ①学力向上プラン「視点2」に記載
- ②チャレンジタイム、ぐんぐんタイム、学びファイルあるいはスタディログを活用し、個々の学習状況の把握と習熟を図る。(週1回以上)
- ③ICT機器を活用し、情報収集、表現物の作成や写真等による記録、交流活動を行う。(毎日)  
【評価指標】「学習でタブレットを使うことができた」で「よくできた」85%以上
- ④外国語科・外国語活動の授業で、ゲームやペア会話等の交流活動を行う。(毎時間)

笑顔の先生

- ①学力向上プラン「視点4」に記載
- ② 会議の内容の精選と業務改善の意識化、及びICTの活用を図る(毎月)。  
【成果指標】生活アンケートで「先生はわかるまで教えてくれる」と答える児童の割合が95%以上

協働する学校・家庭・地域

- ①地域学校協議会プラン「提言①」参照
- ②地域学校協議会プラン「提言②」参照
- ③学力向上プラン「視点4」に記載

楽しい学校

- ①「くるめアクションプラン」の初期対応を徹底する(毎日)とともに、いじめアンケート(毎月)や教育相談週間の実施(学期1回)、ケースに応じた対応策の共有を行う(月1回)。
- ②安全点検の確実な実施(月1回)と、保健給食委員会を中心としたハンカチ・つめ点検の取組を行う(週1回)  
【成果指標】生活アンケートで「手洗い、うがいをしたり、爪を切るなど清潔にしたりして、健康に気がつけた」90%以上
- ③児童主体で計画したたてわり班やペア学年での活動を開催し、よさを振り返る活動を行う。(学期1回以上)

【体力向上】

- ①体育の時間のはじめに、体カテストの課題を意識した「のびのびタイム」を実施する。
- ②「チャレンジ縄跳び」(「1校1取組」運動)  
・体カアップシート活用率:目標 100 %  
・スポコン広場登録学級数:目標 3学級

【あいさつ・そうじ・自学自習】

- ①「挨拶はあい(相)こと(言)ば(場)」に寄せ、学期毎のめあてを提示し、全校朝会で呼びかける。(月1回)
- ②「時間いっぱい」「隅々まで」を呼びかけ、できたかどうか振り返りをする。(毎回)
- ③自主学习ノートの活用と「自学コーナー」の設置で自主学习を推奨する。

基盤として大切にすること(本年度の重点)

- 【人権・同和教育】人権・同和教育カリキュラムに基づく授業の実践を学期1回交流する。また、「あったかい心カードコーナー」等を設置し自他の良さを共有できる環境作りに努める。
- 【特別支援教育】「個別の支援計画」「個別の指導計画」をもとに支援の必要な児童について情報共有し、月1回の校内教育支援委員会で対応についての共通理解を図る。
- 【キャリア教育】柴刈小キャリアパスポートや40字作文を活用して自己ののびを認め合う。